

腺癌との鑑別が困難であった 腹膜原発悪性中皮腫の1例

熊本大学医学部附属病院 病理診断科

○福田 美咲 (MT) 中本 環 (CT) 西山 尚子 (CT)
大園 一隆 (MD) 三上 芳喜 (MD)

悪性中皮腫の発生部位

- 胸膜（75～90%）
- 腹膜（10～20%）
- 心嚢膜
- 精巣鞘膜

女性の腹膜悪性中皮腫ではアスベスト曝露歴がわかる症例は30%以下

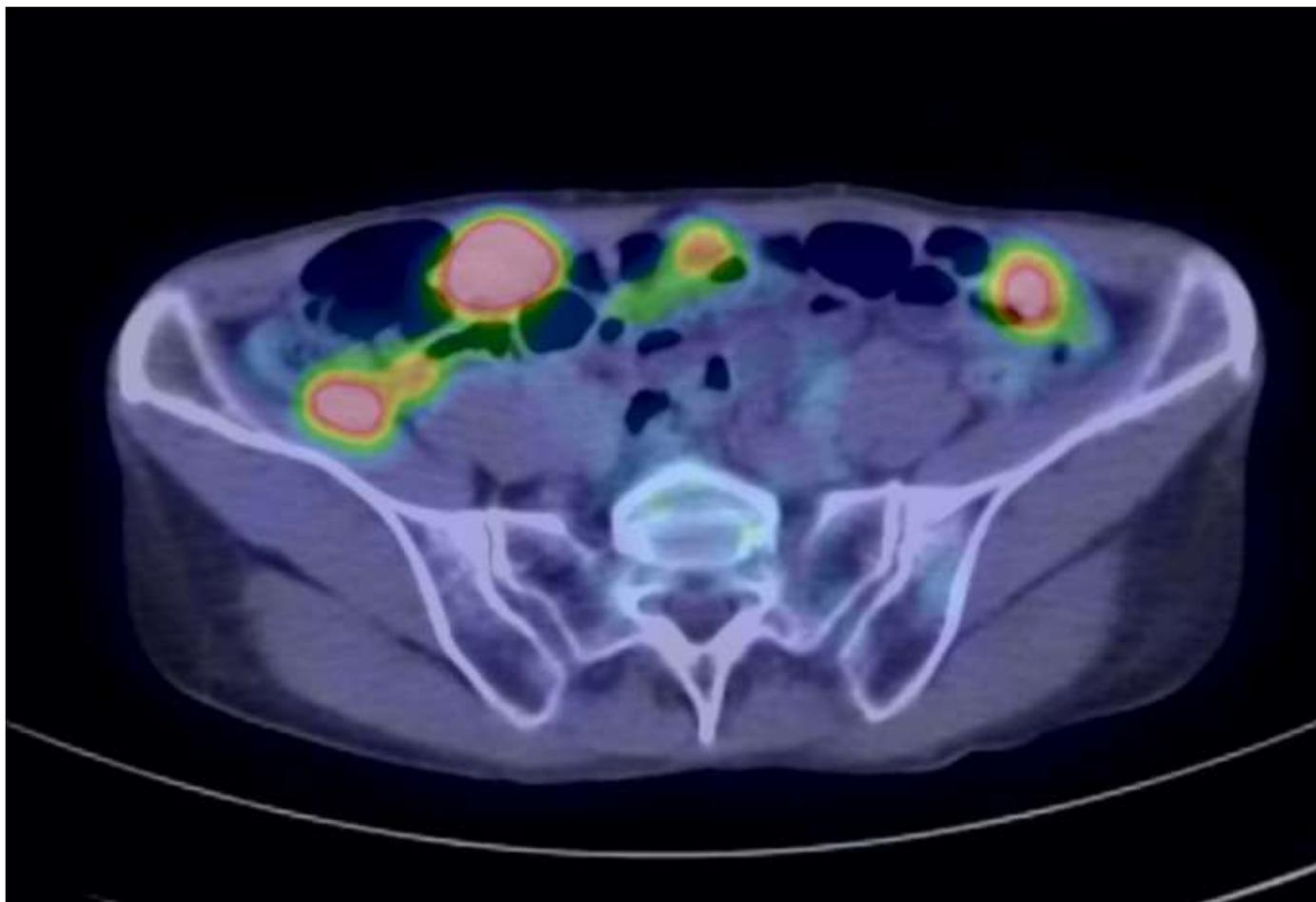
（独立行政法人 環境再生保全機構 HPより出典）

症例

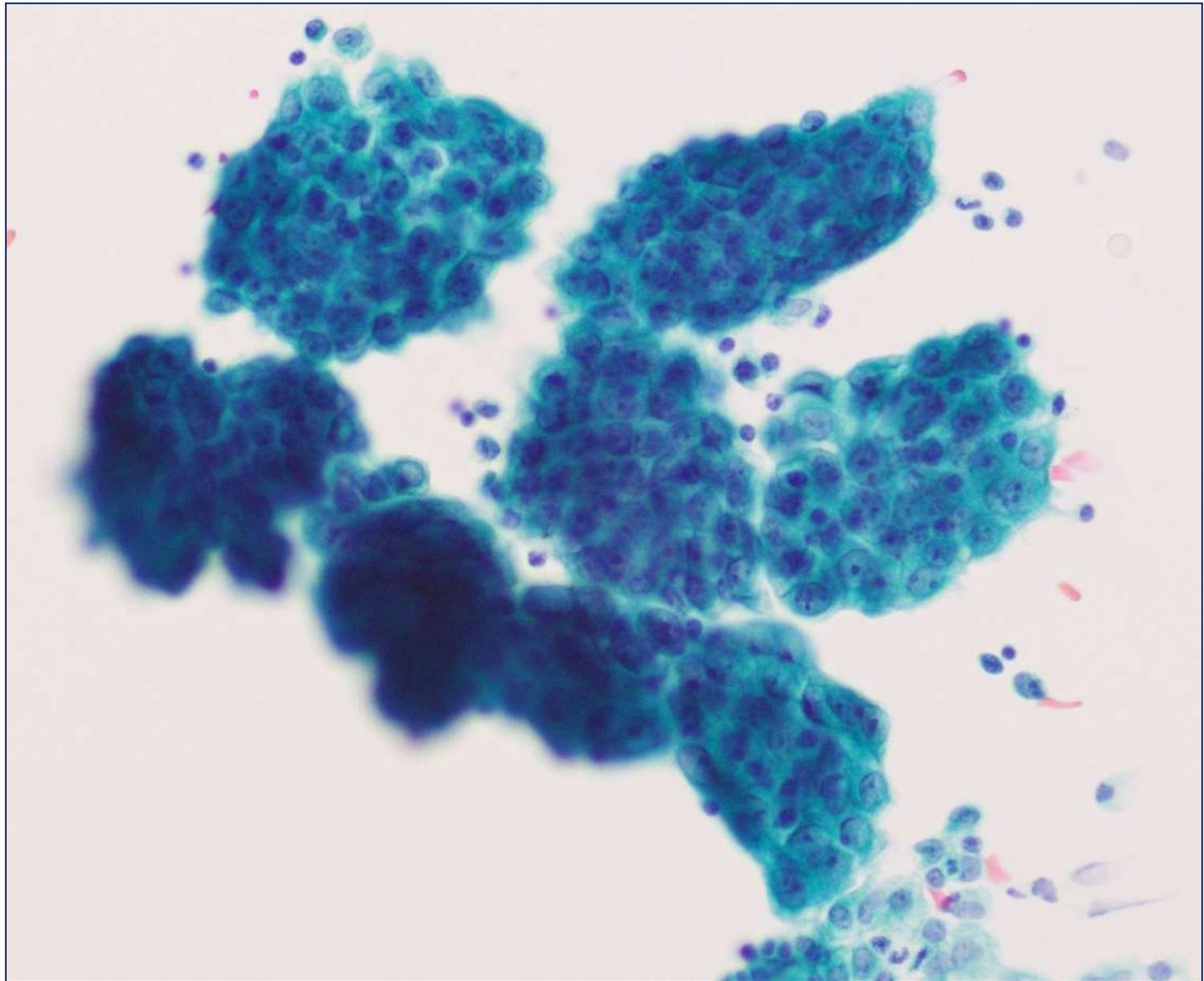
- 70代女性
- 主訴：右下腹部違和感
- アスベスト曝露歴なし
- 腹部CT検査で下腹部に多数の腫瘍
- 血中CA125値：152U/ml ↑

➡ 卵巣癌、卵管癌、腹膜癌疑いで
開腹術施行

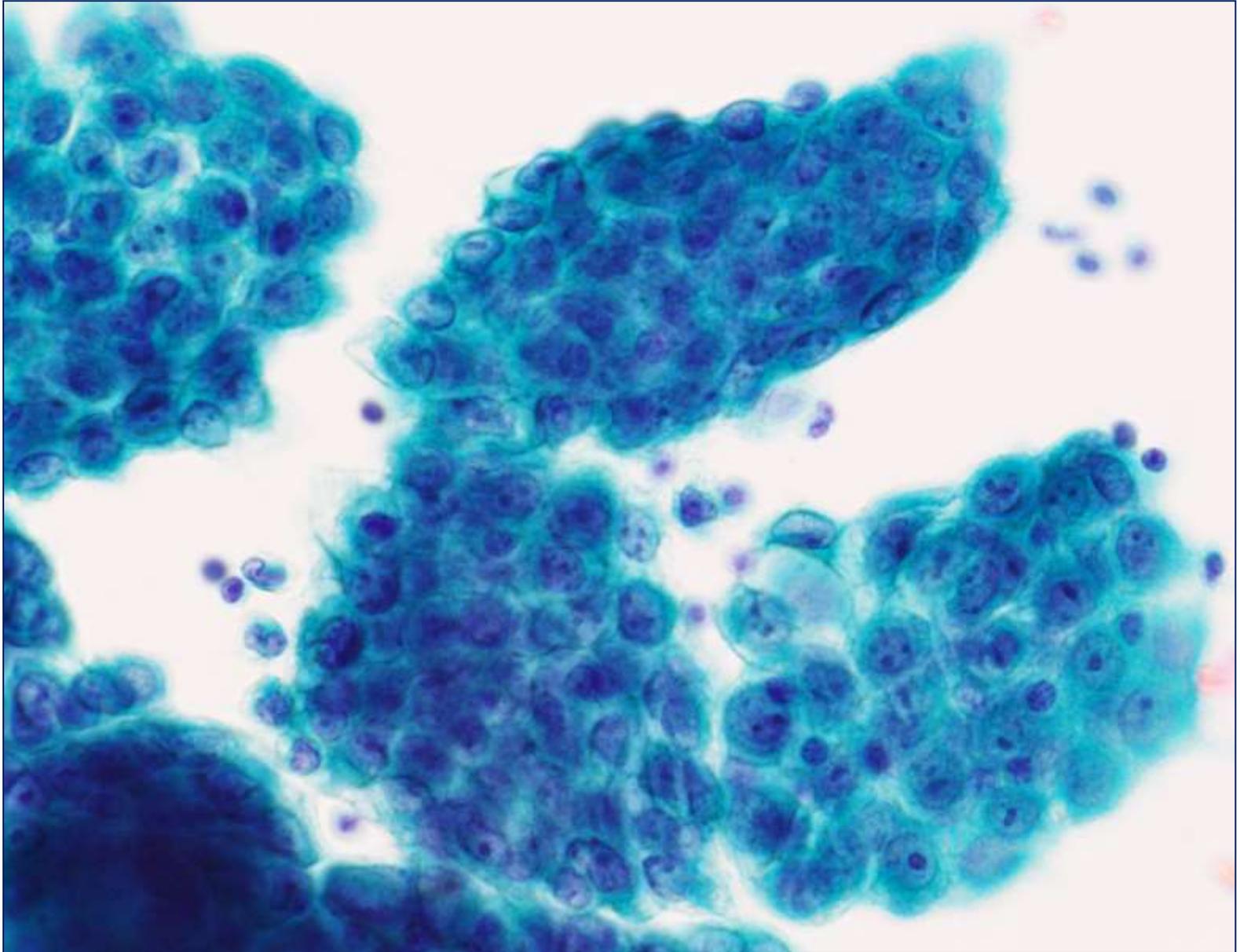
腹部PET-CT検査



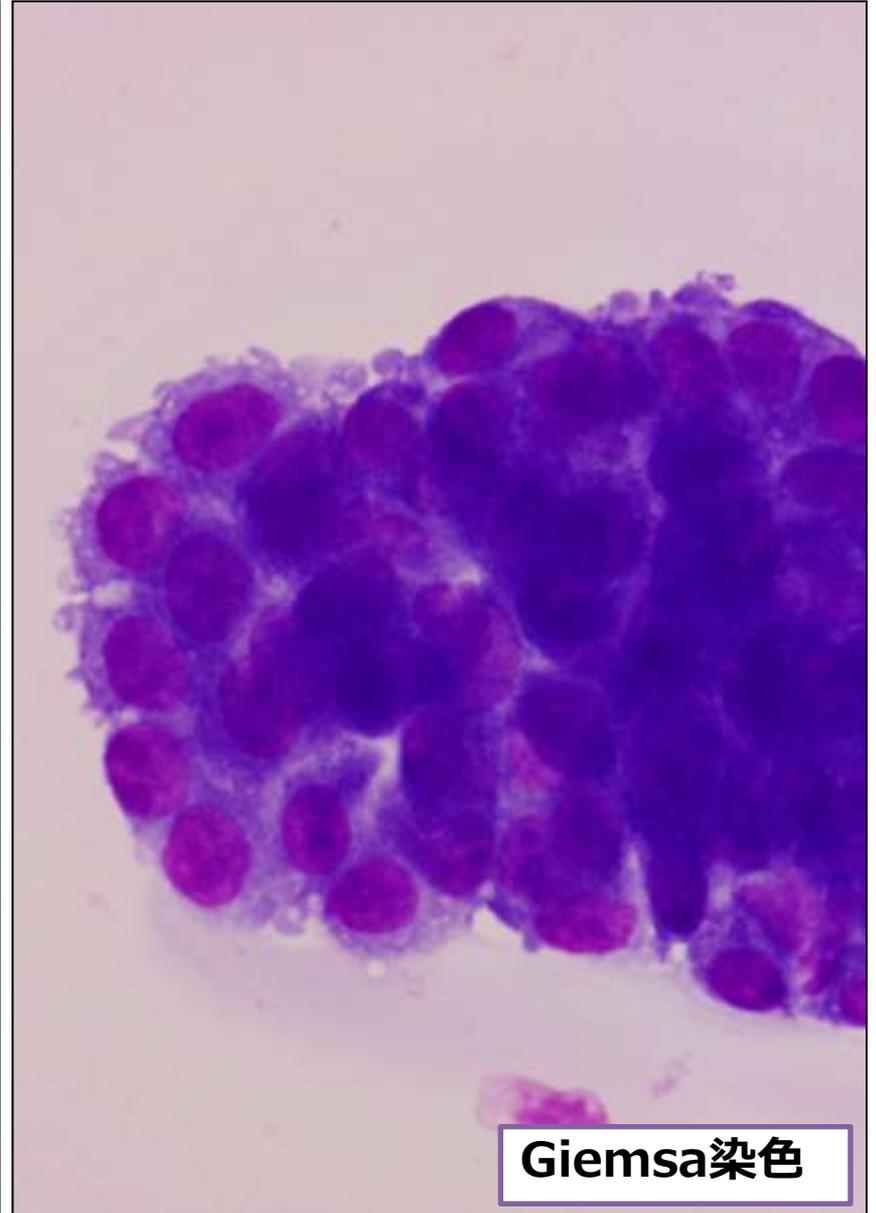
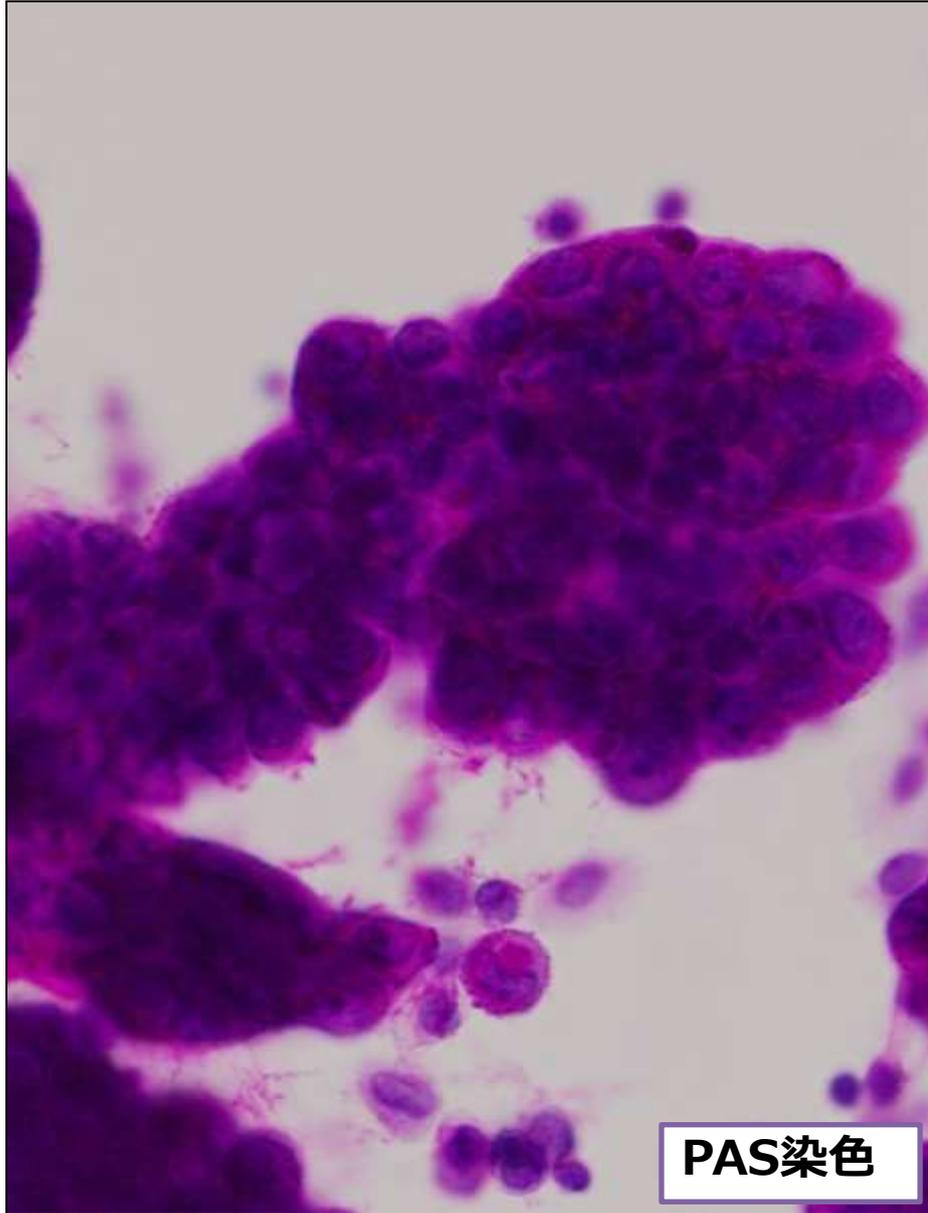
細胞所見



細胞所見



細胞所見

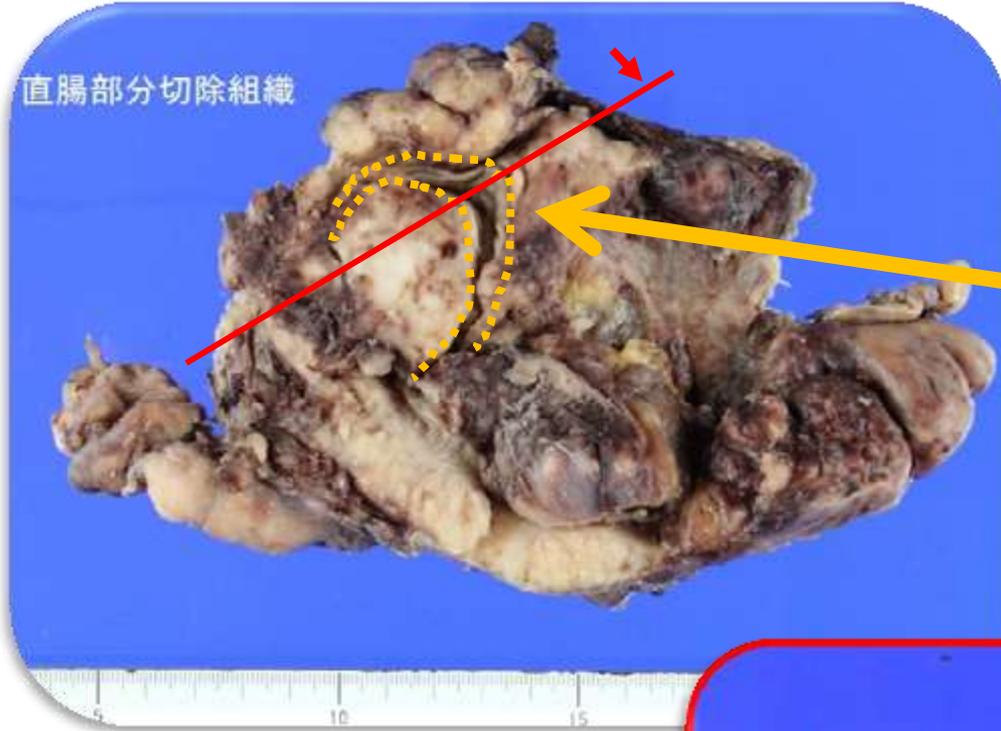


肉眼所見

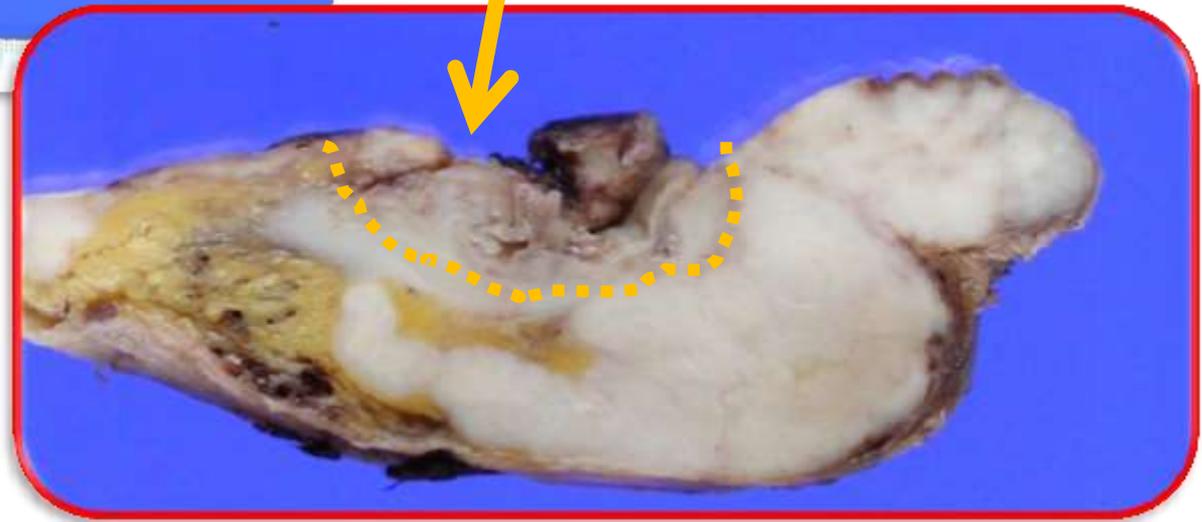


肉眼所見

直腸部分切除組織

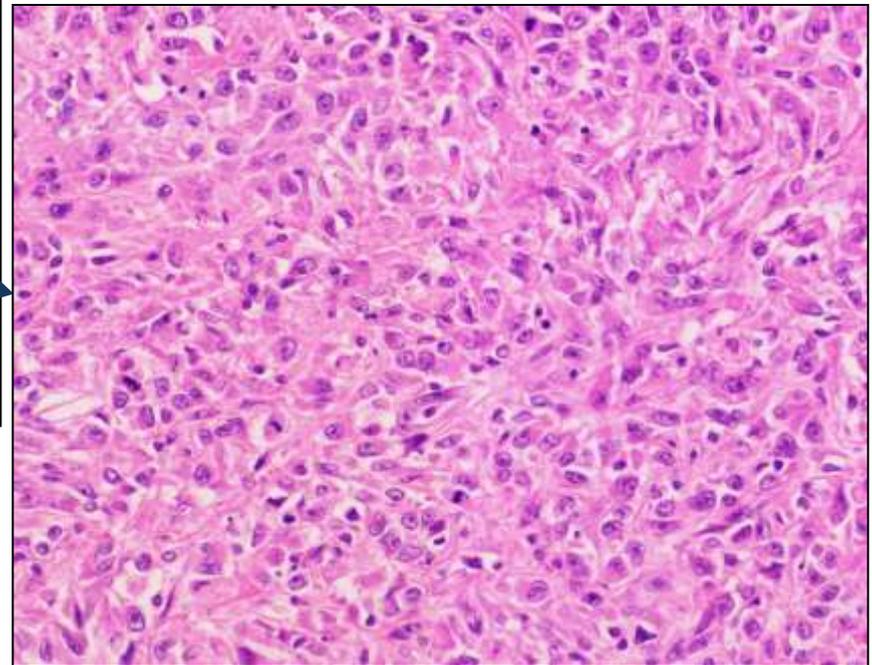
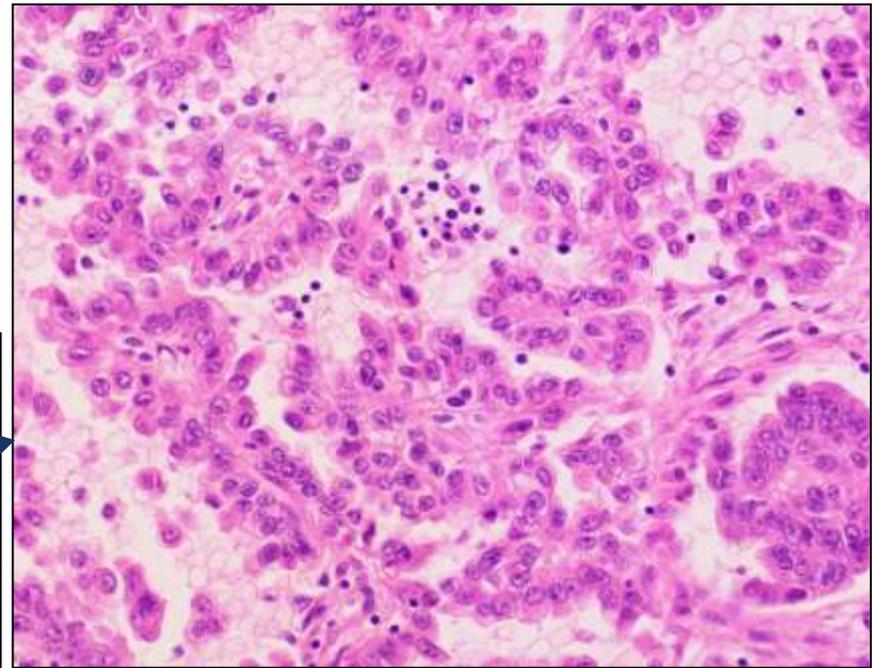


直腸壁



組織所見

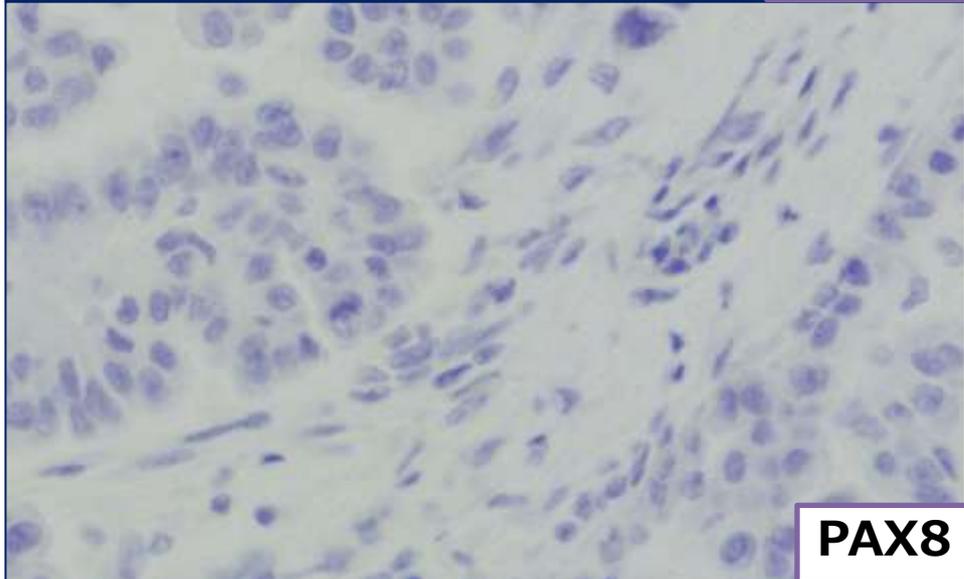
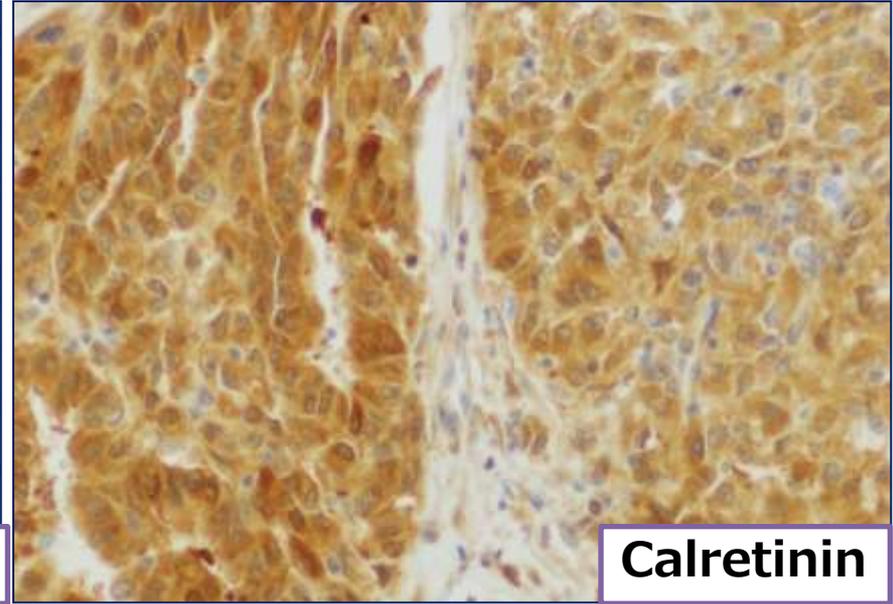
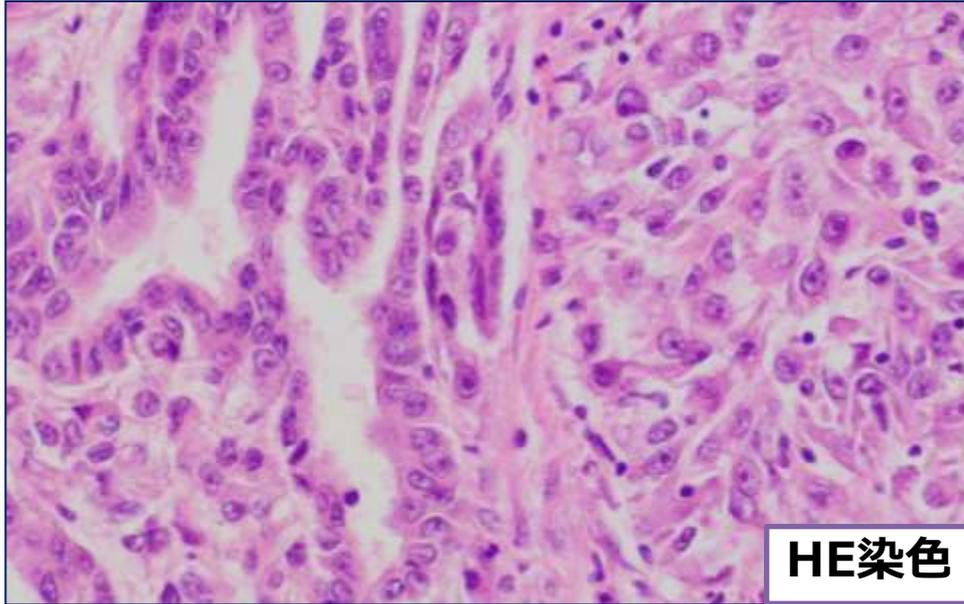
上皮樣成分



肉腫樣成分



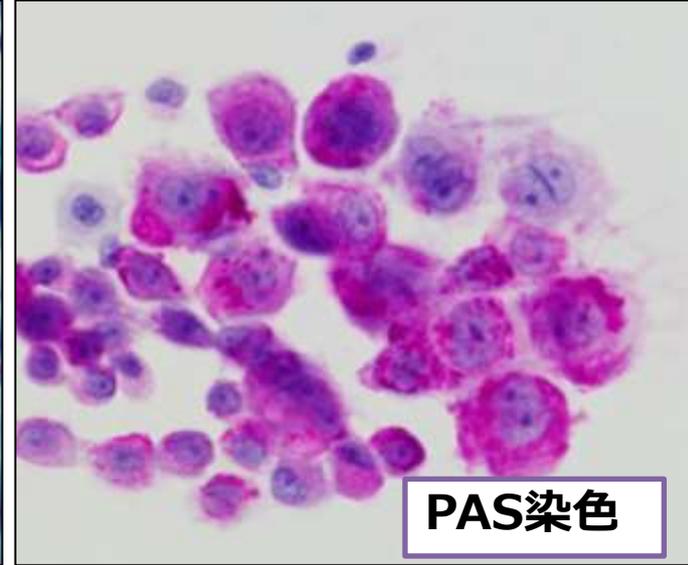
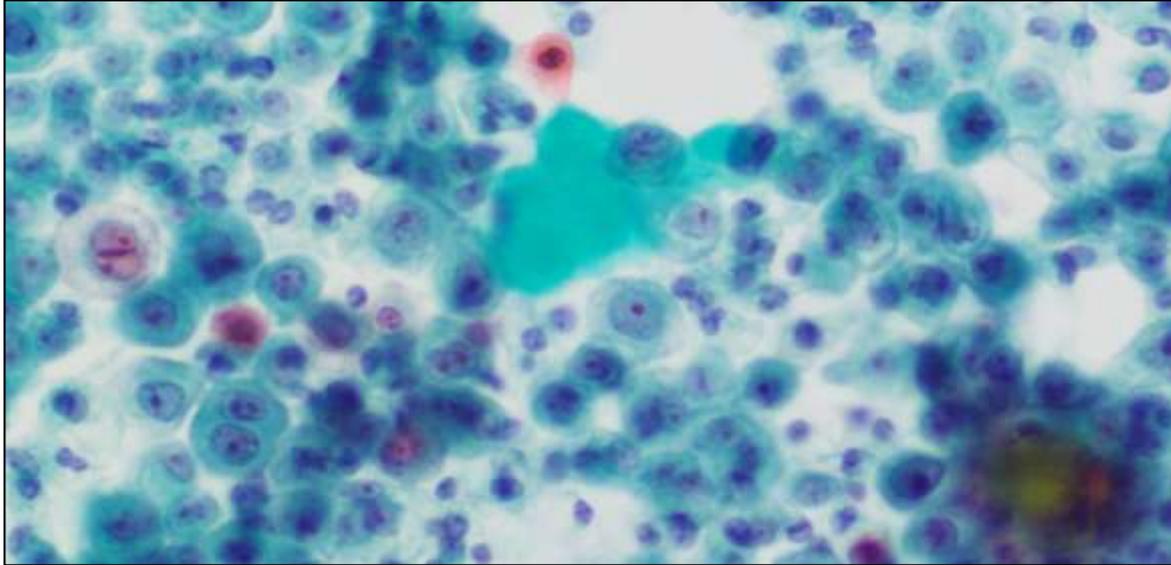
免疫組織化学的検討



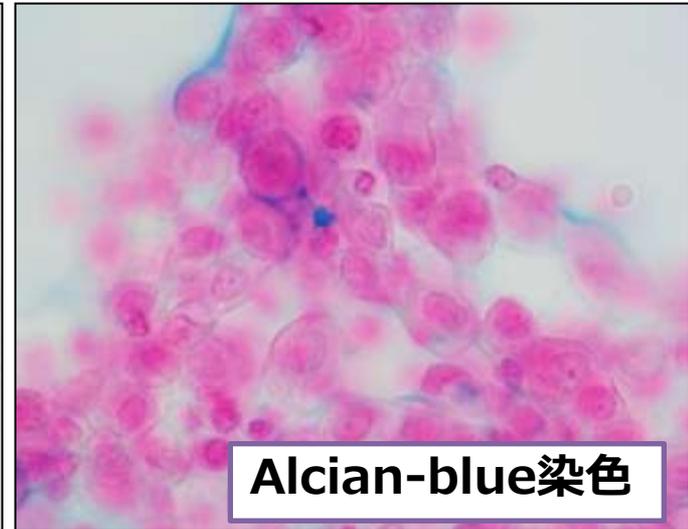
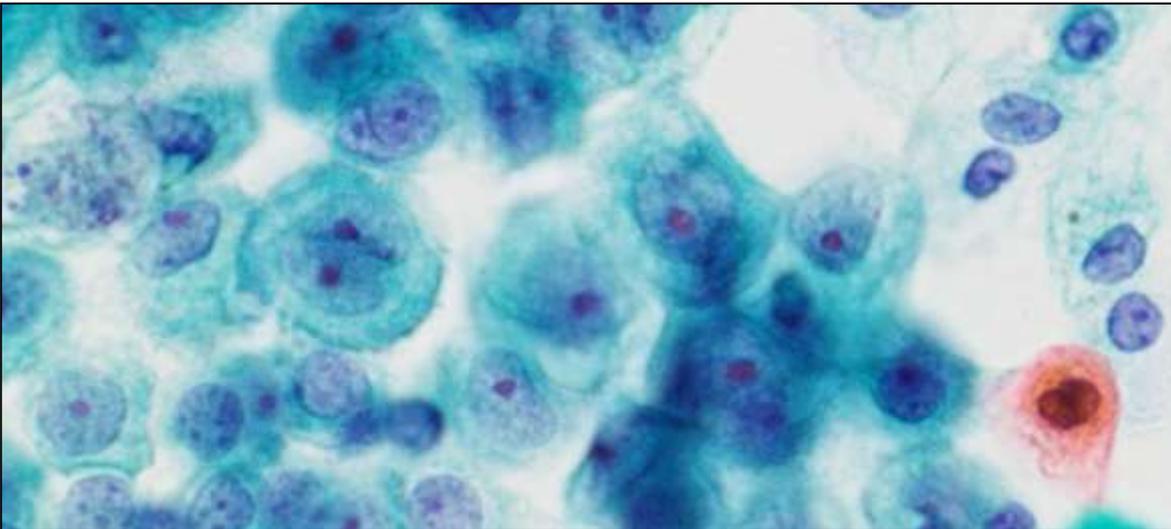
Calretinin	+
D2-40	+
CD146	+
CK5/6	+
Ber-EP4	-
PAX8	-
ER	-

典型的な悪性中皮腫の細胞像

胸膜悪性中皮腫の自験例（腹水）



PAS染色

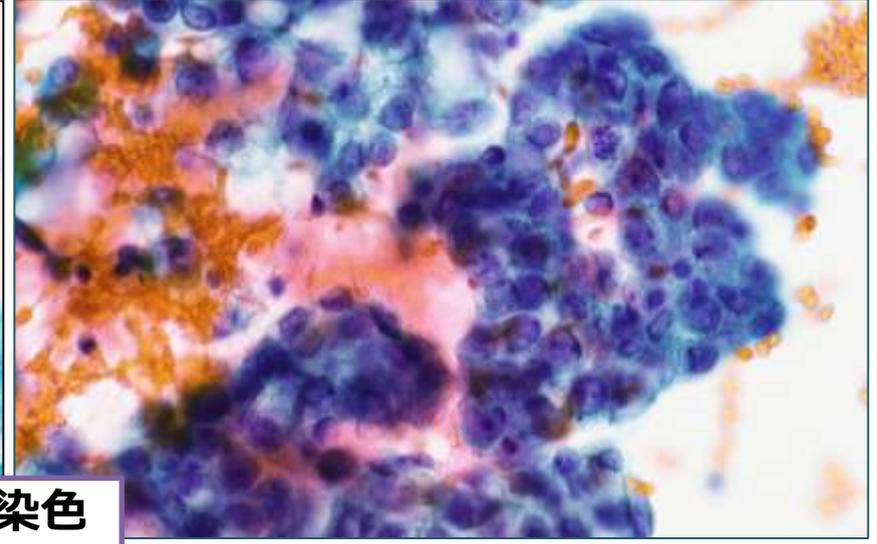
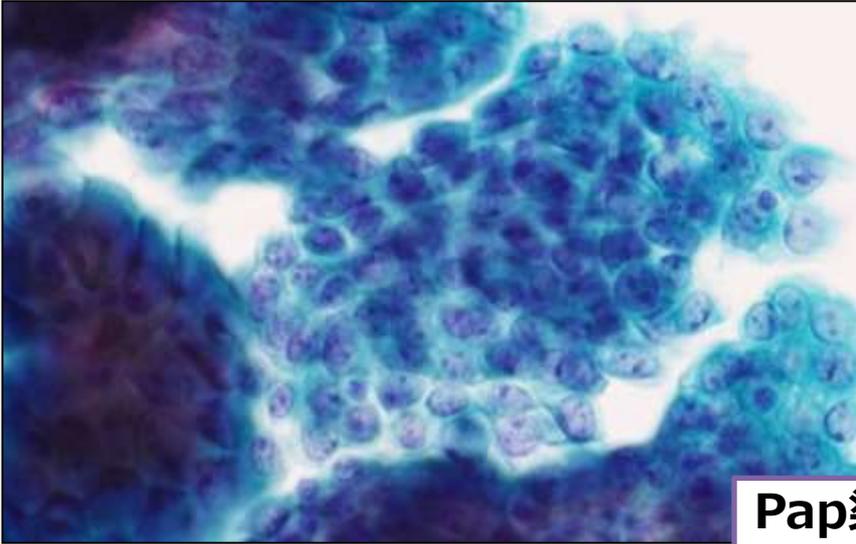


Alcian-blue染色

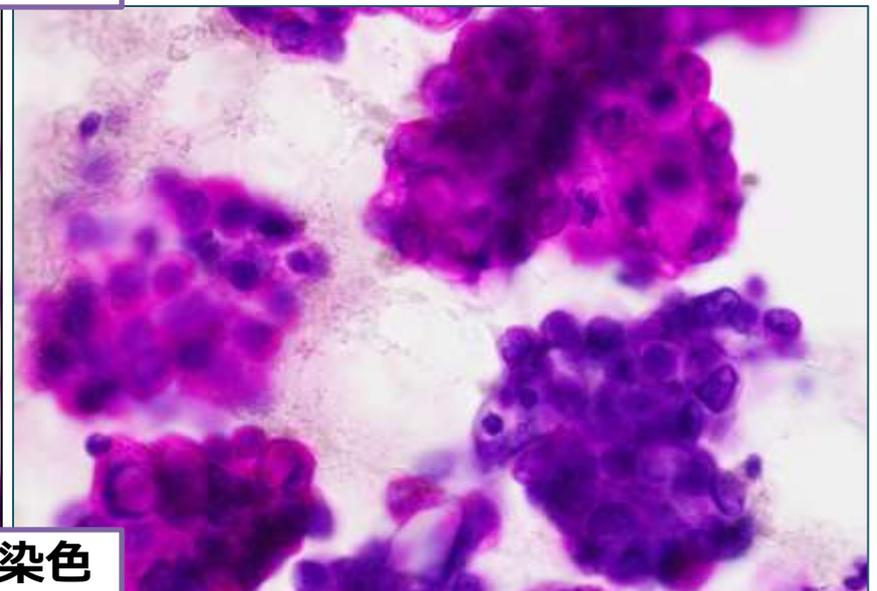
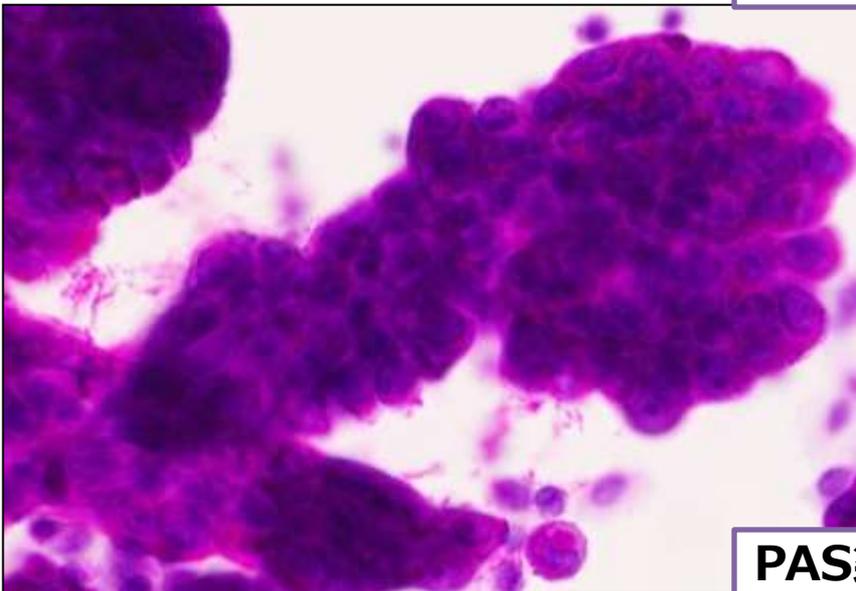
漿液性癌（自験例）との比較

本症例

高異型度漿液性癌の自験例（腹水）



Pap染色



PAS染色

本症例と悪性中皮腫、漿液性癌の特徴の比較

	本症例	悪性中皮腫	高異型度漿液性癌
出現様式	乳頭状	孤立散在性～集塊状	球状、乳頭状
細胞質	やや厚みがある	緻密、重厚感	レース状、すりガラス状
細胞質辺縁	スムーズ（明瞭）	微絨毛様（不明瞭）	スムーズ（明瞭）
核の位置	やや偏在	ほぼ中央	偏在
核形	ほぼ円形	ほぼ円形	不整
クロマチン	細顆粒状	細顆粒状	細顆粒状
核小体	中～大	中～大	中～大
その他の特徴	核は類円形で、 大小不同に乏しい	2核・多核細胞の出現 Hump様細胞突起 オレンジG好性細胞	砂粒小体の出現 片側性の偽線毛

まとめ

- 本症例は、典型的な悪性中皮腫の細胞像との類似点が少なく、多数の乳頭状集塊の出現様式から漿液性癌を考えた症例であった。
- 女性で原発巣不明の腹水細胞診では、腹膜原発悪性中皮腫の可能性を想定して診断することが必要である。